４．音声コードについて

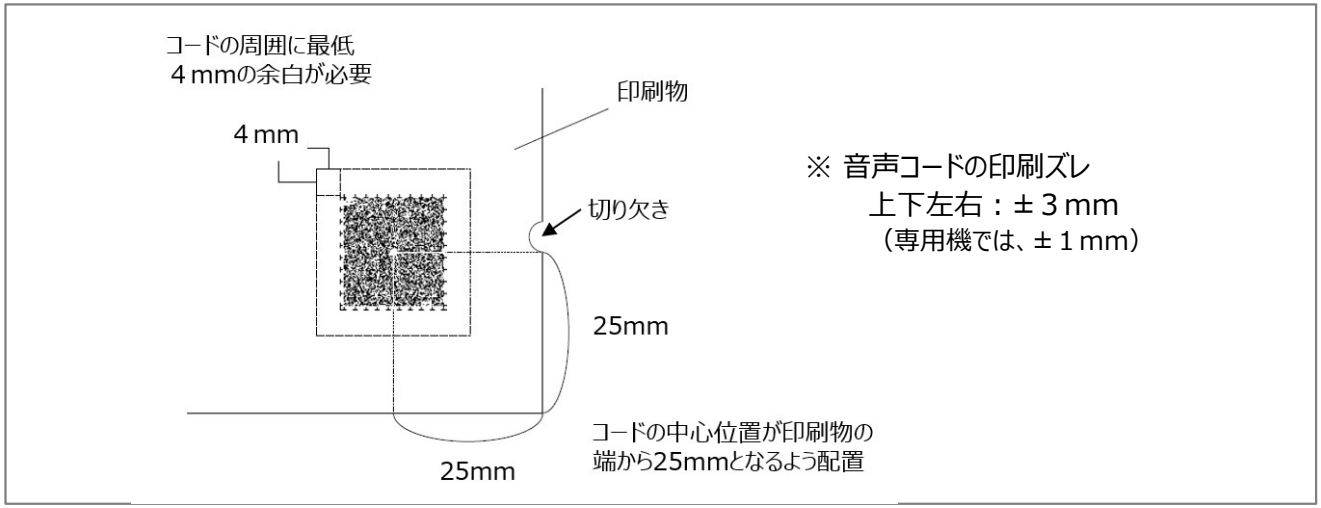
音声コードとは、文字情報を２cm角程度の２次元コードに埋め込み、専用機器やスマートフォンで読み取ることで、音声として聞くことのできるコードであり、１コードに８００文字程度の情報が入ります。

音声コードには、「SPコード」と「ユニボイス」の２種類があるところ、読み取りに当たって、「SPコード」は専用の読み上げ装置が必要だが、「ユニボイス」の場合はアプリをダウンロードしたスマートフォンで読み取ることができるという特徴があります。

「ユニボイス」を利用した場合の印刷業者等に委託する基本仕様例を、以下に示しますが、市区町村の判断により変更することは差し支えありません。）。

（1）音声コードの横に、直径６mmの半円の切り欠き加工を施す。
（2）音声コードの中心位置が、印刷物の端から２５mmとなるよう配置すること。
（3）受注者において読み取りテストを行うこと。
（4）受注者は、実際の印刷に使用する用紙に音声コードを印刷したサンプル品を提出し、委託元の市区町村の確認を受けた後に、本印刷を開始すること。
（5）詳細は、下図のとおりとする。

（図）音声コードの印刷位置



※ 通知書に印刷する音声コードの内容のサンプルは、次葉のとおり。